

川柳 二十七年十一月 「読む」「窓」

今夢中 本読む時間の^{とき} ありがたさ 山本 昭子

人生観 世界が変わる 読書かな 山本 昭子

開放感 心の窓を 全開に 山本 昭子

帰り道 窓の灯りに ホツとする 西沢 秀子

車窓より 見える故郷 人おらず 西沢 秀子

読書好き 感想文は 苦手なり 西沢 秀子

図書館へ 読めずに戻す 借りた本 伊藤 直人

社会の窓 開いているよと 注意され 伊藤 直人

読書より LINEに多くの 時間割き 伊藤 直人

心読む 愛さえあれば ツーカーさ 藤原 輝治

せわしなく すずめチエンチエン 窓の外 藤原 輝治

ひざだっこ ^{まなこ}孫眼きらきら 読み聞かせ 藤原 輝治

先の読み あれこれ迷い 答え出さず 堀 輝規

年をとり ぼけの予防に 漫画読む 堀 輝期

窓開けて 翌朝気づく 閉め忘れ 堀 輝期